

保護者対象 学校再編準備説明会

項 目		回 答	説明会
1 説明会	① 天水中校区全体の説明会の予定は。	・校区全体の説明会は今の所考えていない。これまでに各校区で1回ずつ行った。次は保護者の方対象。少人数のグループでもご要望があれば伺う。その後最終的に必要であれば集まってもらうこともあるかもしれない。	11/17 小天
2 学校規模・配置適正化計画	① 今統合したら2クラス確保ができるけれど、いずれは1クラスになるのでは。	・この推計でいけば2クラス確保できる状況。このまま人口減少が続けば遠い将来は1クラスになる。	11/17 小天
	② 他の中学校区では、どんな風に進めているのか。	・まずは複式学級を有する、学校規模の小さな学校が多くある中学校区から進めている。玉陵中校区は平成24年から、天水中校区は平成27年から開始している。天水の次は玉南中校区と位置付けている。 ・玉名中校区は1中2小、他の5中学校区は1中1小という形で進めていきたい。	2/27 小天東 2/27 小天東
3 天水中校区学校再編について	① 平成30年には小天東小の新1年生は4人。この4人が卒業した後合併という考えはないのか。	・教育委員会としては、何かあったときではなく複式も入っているので、2つの学級ができてクラス替えができる規模にしたい。	11/17 小天
	② 小学校と中学校の敷地は別々にしてほしい。	・今後十分に話をしていくことだけれど、教育委員会としては小学校・中学校一体型の方が教育効果が上がるという考えで進めている。	11/17 小天
	③ 子どもたちへの説明は誰がするのか。そのタイミングは。	・今子どもたちに、これからの教育についてわかってもらえるのは難しいけれど、子どもたちの状態に応じて説明が必要になってくるという認識は持っている。子どもたちには保護者の皆さんや学校、教育委員会が一体となって説明していかなければならないと思っている。	11/17 小天
	④ 今後賛否を問うアンケートを取る予定は。	・子どもに対しても、保護者の皆さん、地域の皆さんに対してもアンケートについては取りたくないというのが教育委員会の考え。このように膝を突き合わせて、意見を伺う中で理解を求めていきたい。	11/17 小天

項	目	回	答	説明会
	<p>⑤ 小天東小校区は熊本市内まで20～30分で行くことができ、とてもいい。学校がなくなれば、どこに住んでも一緒。ますますこの地区は減っていくのではないか。</p>	<p>・新しい学校まではスクールバスで送迎する。スクールバスの運用は、地域の方々や保護者の方々とどういった形態で運行するか考える。地域に子どもたちがいることを前提にコミュニティの形成を図っていかなければならない。</p>	<p>2/27 小天東</p>	
	<p>⑥ スクールバスは課題。教育委員会から出すのか。</p>	<p>・玉陵中校区の例では、帰りは低学年や高学年が帰る時間と部活動が終わる時間の3回の運行を考えている。また、県の担当課からは、夏休み期間中のプールや補習活動にもスクールバスの運行はできると聞いている。教育活動の一環であれば、スクールバスの運行は可能。</p> <p>・「地域でスクールバスを」ということはない。</p>	<p>2/27 小天東</p> <p>2/27 小天東</p>	
	<p>⑦ 玉水小はある程度人数がいるので、まずは小天小と小天東小が一緒にならないのか。</p>	<p>・児童数を見ると、玉水小も全部1クラス。教育委員会では、目標として1学年2クラス以上でクラス替えができて、お互い切磋琢磨できる規模を想定しているので、玉水小も小さい。</p> <p>・小天小に小天東小の児童が通うという考え方はできるが、教育委員会として3校を一緒にという考えをもっている。</p> <p>・学校では、児童一人一人の個性を生かしたいと思うが、先生たちにも低学年向きの先生、高学年向きの先生と持ち味がある。人数が少ないと持ち味を生かすことはなかなか難しい。</p>	<p>2/27 小天東</p> <p>2/27 小天東</p> <p>2/27 小天東</p>	
<p>4 新しい学校づくり委員会</p>	<p>① 地元の商工会、消防団、今後天水にいる人たちに入ってほしい。</p>	<p>・今示しているのは玉陵中校区の例。地域から希望が出れば構成メンバーを考える。</p>	<p>11/17 小天</p>	

項 目		回 答	説明会
	② 反対の立場なら、委員として出なくてもよいのか。	・反対の人も選ばれることもあるが、学校再編が決まれば、天水に新しい学校をつくとすればよいものをつくるという視点に立って意見を言ってほしい。	11/17 小天
	③ 来年1月に新しい学校づくり委員会を立ち上げるというスケジュールは無理だと思う。	・教育委員会としてはこの目標に向かって、ある程度賛成意見が多くなったと感じられるまで説明を続ける。	11/17 小天
	④ 前回の説明会で、平成28年1月中旬に「新しい学校づくり委員会」を立ち上げたいという話だったが、その動きがない。どうなっているのか。	・なるべく早くみなさんから「進めよう」という意見が少しでも多くなれば、その時に提案したい。平成32年開校という目標は持っているが、みなさんの意見をすべて無視してやるということはない。もう少し時間をかければよいと思っている。	2/27 小天東
5 小中一貫教育について	① 中学1年でいじめが増えるのはなぜか。	・以前に比べて子どもたちの成長が早く、小学6年から中学1年のときに大きなギャップが来るけれど、今はその差が非常に大きい。そこをスムーズにつないでいくことが大切なので、小中一貫教育を行っている。 ・いじめ、不登校は小学校でも中学校でも起こるが、一番多いのは中学1年。いくつかの小学校が集まって中学校に来て、新しい人間関係、コミュニケーションをつくる時にいろいろな問題が起きやすい。	11/17 小天 11/17 小天
	② 玉名学はどこに入るのか。（授業数が増えるのか）	・玉名学で授業が増えるわけではない。現在総合的な学習の時間が3年生以上であるけれど、これが玉名学に代わる。小学校1、2年生に生活科・特別活動があるけれど、ここの一部を使って玉名学にあてる。授業時数の総枠は変わらない。	11/17 小天
	① 生活習慣は家庭で教えること。	・午後10時までの就寝、あいさつなどそれぞれの家庭でできていると思うけれど、できていないところもある。子どもたちには学校生活が落ち着いて、友達とコミュニケーションを取りながら、健康に過ごせるように基本的な習慣の定着が一番だと考えている。	11/17 小天
6 その他	① 生活習慣は家庭で教えること。	・午後10時までの就寝、あいさつなどそれぞれの家庭でできていると思うけれど、できていないところもある。子どもたちには学校生活が落ち着いて、友達とコミュニケーションを取りながら、健康に過ごせるように基本的な習慣の定着が一番だと考えている。	11/17 小天

項 目	回 答	説明会
② 教科書は教育委員会で選ぶのか。	・国が定めた教育課程の基準（「学習指導要領」）に沿って、教科書が編集される。学習指導要領に示された内容やねらい、子どもたちに今必要な内容・ねらいが入っている教科書を選択している。	11/17 小天
③ 土曜授業は復活するのか。	・玉名市ではいろいろな状況を調査したうえで、検討を重ね判断する。	11/17 小天
④ 玉陵校区の小学校跡地は決定しているのか。	<p>・玉陵中学校区6つの小学校では、大枠として決まっているところはないが、すべての小学校から体育館とグラウンドは使わせてほしいという要望が出ている。</p> <p>・学校は地域の拠点なので、地域のご意見を聞きながら跡地利用は考えていきたい。ただ、それぞれ体育館やグラウンド、校舎があるけれど、それをそのまま維持するのは難しい。</p>	11/17 小天 2/27 小天東
⑤ 人口増・活性化対策は玉名市総合計画の中に示されているのか。	<p>・定住人口、交流人口を増やす取組みは総合計画の中にうたわれている。全国的に人口減少が進む中で、玉名市だけが増えるということはなかなか難しい。ただ、何もしないで手をこまねいているということではできないので、定住人口・交流人口の増加を図っていくことは、今後も進めていかなければならない。</p> <p>・玉名市に定住促進事業補助金制度があって、5年間で何百人という人が玉名市に来られている。30～40代の方が多い。それでも人口が減っているのは、自然減・少子化で減っている現実がある。</p>	2/27 小天東 2/27 小天東